

給与支払報告書
特別徴収

に係る給与所得者異動届出書

●まず右の該当する年度に☑をして、二重線内を記入してください。
次に、異動後の未徴収税額の徴収方法で選んだ①～③に応じて、
下段の①～③を記入してください。

現年度 新年度 両年度

| | | | | | | | | | |
|----------|------|------------------------------|-------------------------|-----------------|-------|------------------|----------|--|---|
| 武蔵野市長殿 | | 所在地 〒 | | 特別徴収指定番号 | | 宛名番号 | | | |
| 令和 年 月 日 | | フリガナ | | 担当者 | | 所属 | | | |
| 提出 | | 名称 | | 氏名 | | 電話番号 | | | |
| | | 個人番号または法人番号 (右詰めでご記入ください) | | | | | | | |
| 給与所得者 | フリガナ | 旧姓 | | (ア) | (イ) | (ウ) | 異動年月日 | 異動の事由 | 異動後の未徴収税額の徴収方法 |
| | 氏名 | | | 特別徴収税額 (年税額) | 徴収済税額 | 未徴収税額 (ア)-(イ) | 令和 年 月 日 | 番号を記入 | 番号を記入 |
| | 生年月日 | 元号 | 1. 明治 3. 昭和 4. 平成 | 年 | 月 | 日 | 月分から | 1. 退職 2. 転勤 3. 休職 4. 長欠 5. 死亡 6. 支払少額 7. 支払不定期 8. その他 | 1. 特別徴収継続 (転勤) →下段の①へ |
| | 個人番号 | | | 月分まで | 月分まで | 円 | 円 | 円 | 2. 一括徴収 (未徴収税額を本人から徴収しまとめて納入) →下段の②へ |
| | 住所 | 1月1日の住所 | 東京都 武蔵野市 | | 円 | 円 | 円 | 8.その他の理由を右欄へ記入 | 3. 普通徴収 (本人が納付) →下段の③へ |
| | 現住所 | | | | | | | | |

①特別徴収継続の場合(給与所得者が、新しい勤務先で特別徴収を希望する場合に記入してください。)

| | | | | | | |
|---------------------|------|------|-----------------------------|-----|--|---|
| 新しい勤務先 (特別徴収義務者) | 所在地 | 〒 | 特別徴収指定番号 | 担当者 | 氏名 | 新しい勤務先へは、月割額 円 を 月分 (翌月10日納期限)から 徴収し、納入するよう連絡済です。 ※新しい勤務先へ月割額をお伝えください。 |
| | フリガナ | フリガナ | 新規 <input type="checkbox"/> | 電話 | 電話 | |
| 名称 | 名称 | 法人番号 | 受給者番号 | 納入書 | 要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> | |

②一括徴収の場合(未徴収税額を一括徴収する場合に記入してください。)

| | | | | | | |
|-------|--|---------------------------|---|--|---|---|
| 番号を記入 | 1. 異動年月日が12月31日以前でかつ本人からの申出があったため。 2. 異動年月日が1月1日以降でかつ特別徴収の継続の希望がないため。 | 徴収予定額 (ウと同額) を右欄に記入 | 円 | 左記の徴収した金額は、 月分(翌月10日納期限) で納入します。 | ④ | 1月1日以降退職時までの給与支払額 円 控除社会保険料額 円 |
|-------|--|---------------------------|---|--|---|---|

③普通徴収(一括徴収しない)の場合

| | | | | | | | |
|-------|--|-----------|----|----|----|----|--|
| 番号を記入 | 異動年月日が1月1日～4月30日の場合は、一括徴収してください。 1. 異動年月日が6月1日～12月31日でかつ本人からの一括徴収の申し出がないため。 2. 異動年月日が1月1日～4月30日でかつ給与及び退職手当等から未徴収税額(ウ)を一括徴収できないため。 3. 死亡による退職のため。 → 右の⑤欄も記入してください。 | ⑤の死亡続人の場合 | 氏名 | 住所 | 続柄 | 電話 | 武蔵野市記入欄 |
| | | | | | | | 併徴() 口座(なし・全期・期別) 年度 入力日 総点日 切替 理由 不要 月期 不要 月期 |

【提出先】〒180-8777 武蔵野市緑町2丁目2番28号 武蔵野市役所 財務部 市民税課市民税係 ☎0422-60-1823

記載例

(退職により普通徴収へ切替えの場合)

給与支払報告書 特別徴収に係る給与所得者異動届出書

●まず右の該当する年度に☑をして、二重線内を記入してください。
次に、異動後の未徴収税額の徴収方法で選んだ①～③に応じて、
下段の①～③を記入してください。

現年度 新年度 両年度

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 武蔵野 市長殿 | | 所在地 〒 012-3456 | | 特別徴収指定番号 12345678 | | 宛番号 2 | |
| 令和 年 月 日 提出 | | フリガナ ○○県○○市○○町1-2-3 | | 所属 人事課人事労務係 | | 担当者 | |
| | | フリガナ カブシキガイシャ マルバツショウジ | | 氏名 特徴 花子 | | 電話番号 000-000-0000 | |
| | | 個人番号または法人番号 (右詰めでご記入ください) 11111111111111111111 | | 特別徴収税額 (年税額) (ア) 140,000 | | 徴収済税額 (イ) 35,600 | |
| | | フリガナ ムサシノ タロウ | | 未徴収税額 (ウ) 104,400 | | 異動年月日 令和 4 年 8 月 31 日 | |
| 氏名 武蔵野 太郎 | | 旧姓 | | 異動の事由 番号を記入 1 | | 異動後の未徴収税額の徴収方法 番号を記入 3 | |
| 生年月日 元号 3 1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成 40 年 1 月 1 日 | | 特別徴収税額 (年税額) 6 月分から 9 月分まで 8 月分まで 5 月分まで | | 1. 退職 2. 転勤 3. 休職 4. 長欠 5. 死亡 6. 支払少額 7. 支払不定期 8. その他 | | 1. 特別徴収継続 (転勤) 2. 一括徴収 (未徴収税額を本人から徴収しまとめて納入) 3. 普通徴収 (本人が納付) | |
| 個人番号 2 | | 住所 1月1日の住所 東京都 武蔵野市 緑町2-2-28 | | 円 円 円 | | 8. その他の理由を右欄へ記入 | |
| 現住所 同上 | | 円 140,000 | | 円 35,600 | | 円 104,400 | |

税額通知書に記載のある特別徴収義務者指定番号・宛番号を記入してください。

法人番号を記入します。個人事業主の方は、事業主の個人番号を記入してください。

異動後の未徴収税額の徴収方法を選択します。該当の番号を記入してください。

1月2日以降住所を変更した場合で新住所がわかる場合は、記入してください。

① 特別徴収継続の場合はこちらの欄も記入し、転勤先での徴収開始月を記載してください。

② 一括徴収の場合はこちらの欄も記入し、一括徴収した金額の納入月を記載してください。

③ 普通徴収の場合はこちらの欄も記入してください。

①特別徴収継続の場合(給与所得者が、新しい勤務先で特別徴収を希望する場合に記入してください)

【例】8月分まで特別徴収し、以後普通徴収とする場合

(ア)特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分)
(イ)徴収済額 35,600円(6月から8月分)
(ウ)未徴収税額 104,400円(9月から翌年5月分)

※(ウ)の未徴収税額が普通徴収税額となります。
普通徴収の税額通知は武蔵野市から本人宛に送付します。

②一括徴収の場合(未徴収税額を一括徴収する場合に記入してください。)

③普通徴収(一括徴収しない場合)

併徴() 口座(なし・全期・期別)

| | | | | |
|----|-----|-----|----|----|
| 年度 | 入力日 | 総点目 | 切替 | 理由 |
| | 不要 | | | |
| | 不要 | | | |

【提出先】〒180-8777 武蔵野市緑町2丁目2番28号 武蔵野市役所 財務部 市民税課市民税係 ☎0422-60-1823

※異動届出書は異動が生じた月の翌月10日までに提出してください。
※1月1日から4月30日までの間の異動により給与の支払いがなくなる場合は、一括徴収が義務付けられています。
※年末に退職等により普通徴収または一括徴収とした方について、再雇用等により、翌年度が特別徴収となる場合には、その旨を余白にご記入ください。